

支配する言葉3

人妻寝取らせ・後編



あれから妻は定期的に、
ネトラセと称して私に
動画を渡すようになった

溜まっていく
妻のセックスの記録…

普段の妻に
変わったところはない。
夜以外は…

今までしたことのない、
フェラチオをする
ようになった。

あの男に仕込まれたのか…

私とのセックスは
回を重ねるごとに
激しくなっていた。



あまりに激しく求められ、
私はついに行く事が難しくなるほどに。

ある時、妻の性欲について
行けず、中折したことが
あった。



ため息を吐かれた。
今まで二度もそんなことは
なかったのに。

はっ...

原因はあいつだ。
それはわかってはいるが、
操られている俺からは
どうすることも出来ない。
あの謎の力で
俺は行動を縛られている。

俺にできることは
妻をセックスで
満足させる事…

妻のために身を粉にして働いた。
妻のためにできることは全てやった。
妻を愛した。愛している。

それが
セックスだけで負けるのか…？

んー？

どうしたの？
元気ないよ？

いや…
実は…

もうネトラセは
やめよう

言えた!?

何故…!?



大丈夫だって、
私はどこにも
行ったりしないよ

すいね



やった!!



んー、
いいよ、それなら



もつと面白く
するためだよ

そりゃ
もちろん

はっ!

ねえ、どうして
あの男の命令を
解除しちゃったの?

説明

九井中介(くいなかすけ)

言葉で人を操る力を持つ。

今回は、「女に一切力を使わずどうセックスするか」

というテーマの元

夫に「他人とセックスしろ」と言われた妻はどうなるか?

という実験で遊んでいる。

ひねくれた性癖の持ち主。

この女は、支配する言葉1で洗脳して彼女その1にした女



さー
こっから
どーなるか
楽しみだ



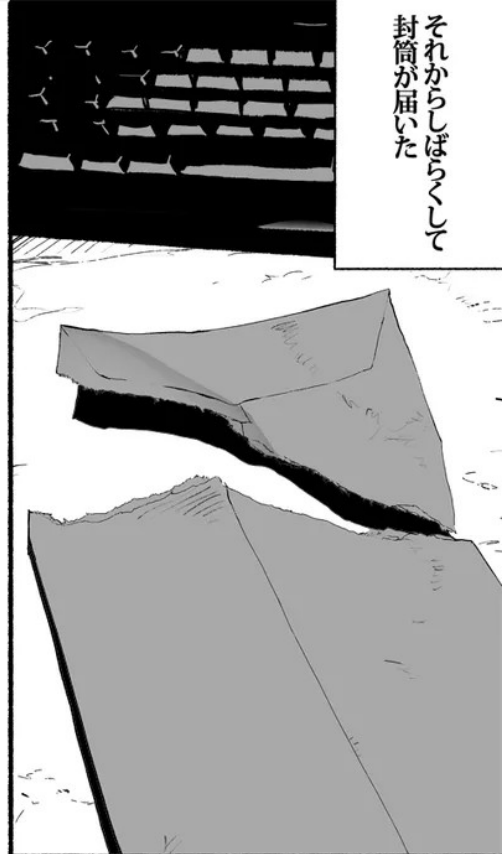
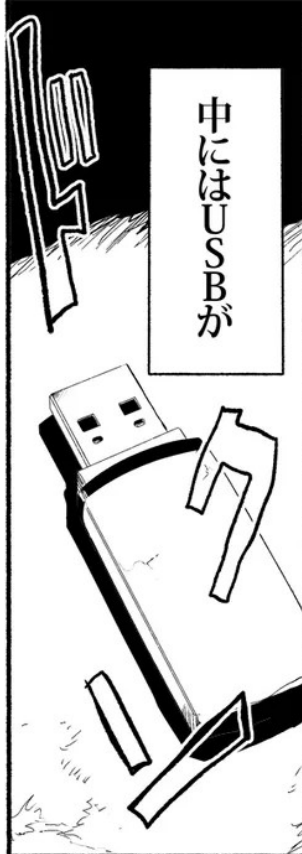
あー、わかった

本当ひどい人ー

それからしばらくして
封筒が届いた

中にはUSBが

動画データには
妻が写っていた。



あなたにはもう
しないって言ったけど、
不意打ちでやったら
より興奮する人が
いるらしくって、

そのための
嘘でした

私から提案して
前々から
計画してました！



全部あなたに
喜んでほしい
から

安心してね



俺のため……？
本当に……？



画面の中の妻は
もう男の性器しか
見ていなかった。

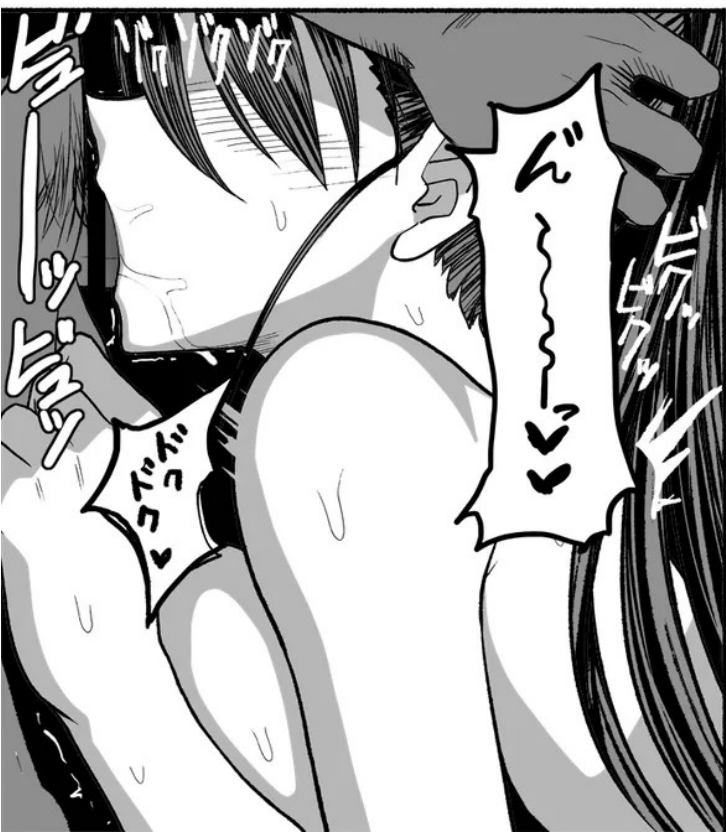


俺にするのとは
全く違う
下品なフェラ



知らない男のモノを
あんなに丁寧
口で舐め取って……

俺にはしたことの
無いパイズリまで





これは本当に私が知っている妻と同じ女なのか？セックスする相手が違うだけでこうまで変わるのか？

すっげえ締め付け
てくるじゃん

旦那さん
見てる？

すんすん

人妻なのに声
下品すぎるぞ





ほら、旦那になんか
言ってやれ

うん、

はあ

はあ



私が犯されるのを見て
ドキドキした？
いっぱいシコシコして気持ち
よかった？

それじゃあね
ばいばい



お前...
本当に...

ん？

まだ
時間が
残って...

がちゃ

「録画終わった?」

「ああ、」

「ねえ・・・早く・・・」

「わかったわかった」

「今日は大丈夫な日だし

あの人もちゃんと

えっちしてるから

デキても大丈夫だよ

バレないよ」

「いいんだな?」

「うん♥もうあなたとの

セックスじゃないと

満足できないんだもん♥」

がちゃ





胸が苦しい
思考が出来ない。
脳が泥のように重い。

あっ
あっ

おくっ...っ...っ

ズン
ズン

深い...っ
すっ...っ



全身を貫く敗北感。
男して負けるということが
どういふことか理解させられる。



私のセックスはそんなに
下手だったのか・・・？



・・・？
なんだ？



・・・まさか
やめろ。



うそだ。やめろ。
やめてくれ。



ああ、そんな...



確信した



妻は
この男を愛してる

ニれすきん

すいん

んっ

んっ



もっと...
深く...
あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

イキナヒニ...
あ...
あ...
あ...

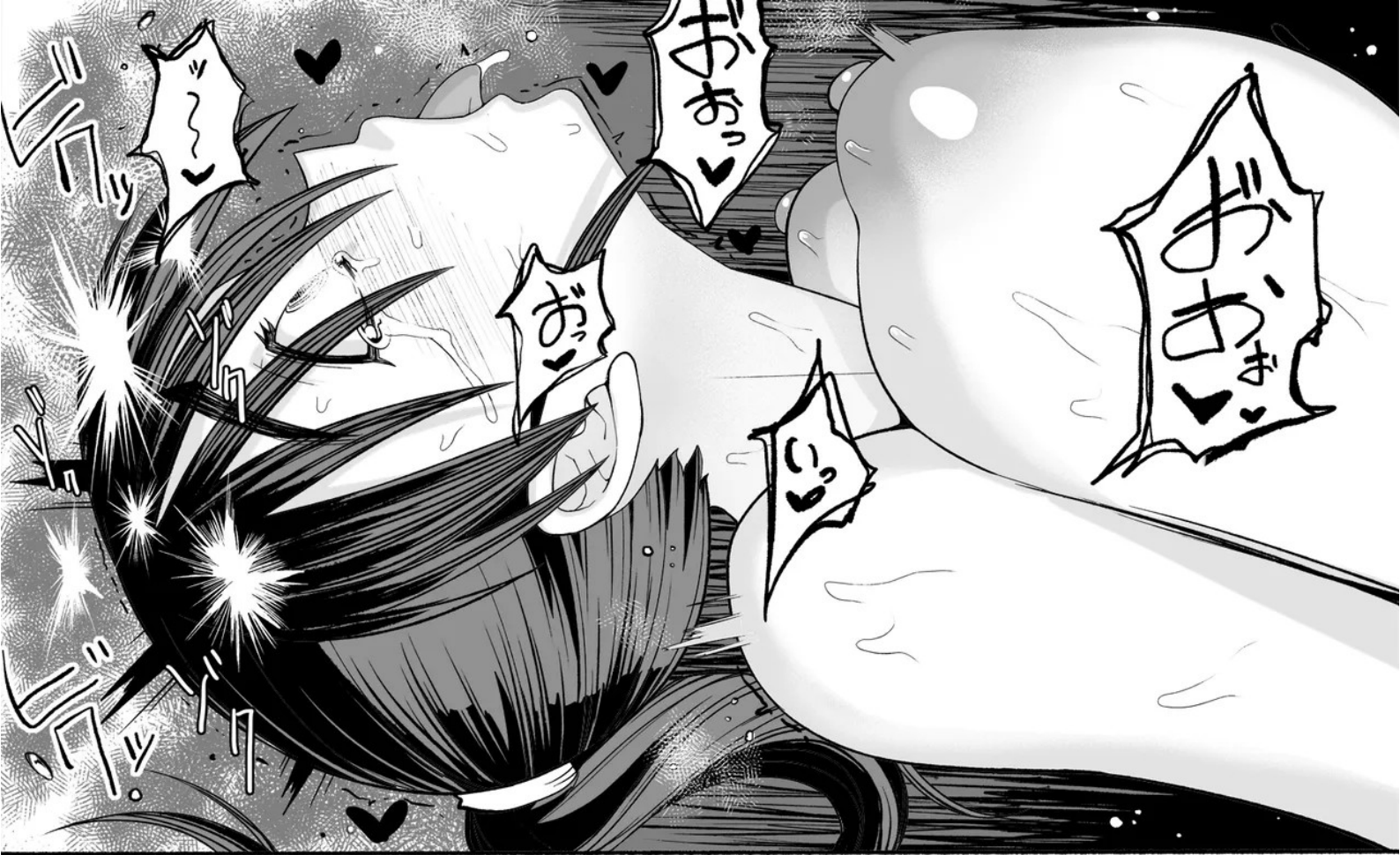
あたま...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...



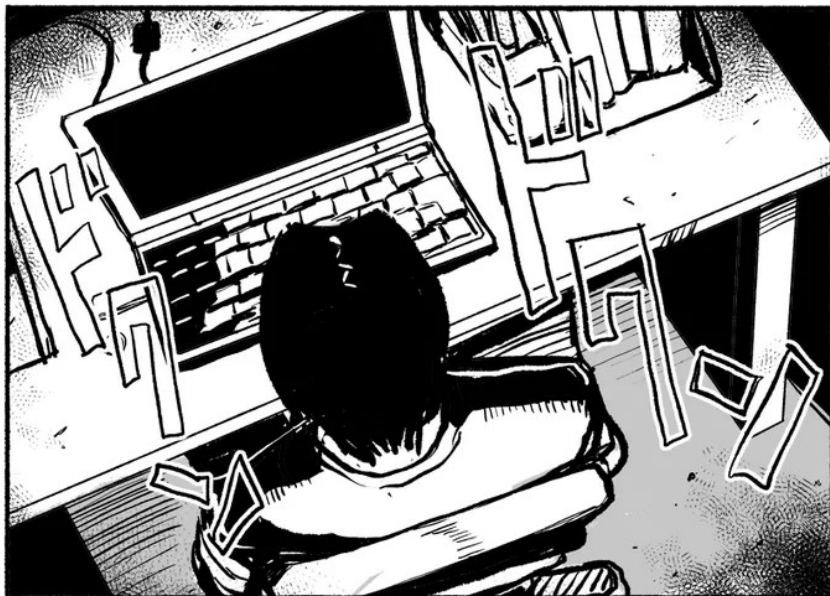








一体……
どういふことだ



それから半年が過ぎた。
あれから一度もネトラセは無く、
妻も変わりがない。
平和が戻ったと安堵した頃、
私の心を大きく揺さぶる事件が
おきた。

まさか……あの男に操られている？
いや、なら俺を操る意味がない、何がしたいんだ？
……遊んでいるのか？
人妻を落とせるかどうかのゲームをしているのか？
妻は、私のためにやっていると言うが……
あの表情は……
……それでも、信じよう。
妻が愛してるのはこの俺だけだ。
あれは演技だ。それも、俺を喜ばせるための。
妻を信じよう。こんな事で、セックスだけで、
壊れる関係じゃ無い。

息ができなくなるほど動揺してしまった
俺は妻を信じているのに、
動揺を悟られないように
俺は言葉を絞り出した



聞いて、
私妊娠したの





ゼーんぶ

あなたの
ためだからね...